

砺波市立雄神公民館

◆事業の目的

先人が守って来た田植え、稲刈りを体験し、餅米が出来るまでの過程を、家族や仲間、地域の方と考える。「地域の歴史や行事を学び、しめ縄に込められた、思いや意義を学ぶ。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
5月14日(土)	餅米作り田植え	地域内田んぼ	65名(子供50名)
8月28日(日)	餅米作り稲刈り	地域内田んぼ	65名(子供50名)
10月23日(日)	餅米作り収穫感謝祭	雄神体育館	70名(子供30名)
12月18日(日)	しめ縄、飾り縄作り	雄神集会センター	31名(子供13名)

◆事業の様子

☆餅米作り田植え、稲刈り

今年も地域の方の協力の下、田植えをしました。苗の植え方や、足の運び方を教わりました。

稲刈りは、鎌の扱い方や稲の揃え方を教わりました。

☆餅米作り収穫感謝祭

公民館まつり(敬老会)に餅つきをしました。

敬老会招待者、長寿会の皆さんにお餅を召し上がって頂きました。

☆しめ縄・飾り縄作り

雄神神社に古くから伝わる、お正月を迎えるしめ縄、飾り縄の作り方を高齢者の皆さんに教えて頂きました。

しめ縄、飾り縄を神棚や玄関に吊ることの意義や左義長に燃やす事の意味などを教わりました。



◆事業の成果と課題

米作り2年目。田植え、稲刈り、収穫感謝の餅つきと、子供達は確実に成長しました。

田植えの早かったこと!! 稲刈りの積極的なこと!! 餅つきでは地域の皆さんと触れ合ってなんと充実していたことか!!

地域を担う子供達が自然と関わりながら、次の世代の伝承者として成長していく姿がとてもたくましく感じました。